

ARCHAEOLOGY IN ASUKA

JANUARY 22
— MARCH 14
2021

飛鳥の考古学2021

令和3年1月22日 | 金 | — 3月14日 | 日 | 飛鳥資料館 令和2年度 冬期企画展

月曜日休館 / 2月7日(日)は無料入館日 主催 | 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館、
奈良県立橿原考古学研究所、明日香村教育委員会 後援 | 文化庁、近畿日本鉄道株式会社 開館時間 | 午前9時から午後4時30分 (入館は午後4時まで)
入館料 | 一般350円、大学生200円、高校生及び18才未満・70歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

ARCHAEOLOGY IN ASUKA

飛鳥の考古学二〇二〇



2

施設や階段状遺構など、水辺の祭祀遺構がみつかりました。日本最古の本格的な寺院である飛鳥



3

今はおだやかな農村の風景が広がる飛鳥ですが、私達の足下には数多くの日本を代表する遺跡が眠っています。そして、長年におたり継続的な発掘調査がおこなわれ、新たな発見も続いています。飛鳥地域の中心部にある庭園遺跡の飛鳥京跡苑池では、北側の池の北東部分が調査され、そこから新たに流水



4

平成三十一年・令和元年 今回の展覧会では、

大極殿院では大極殿の北から新たな回廊を発見しました。これにより大極殿院の構造に関する研究が新たな段階に入るとともに、造営過程についての研究も進んでいます。藤原宮の西二キロメートル付近に広がる藤原京右京五条周辺および四条遺跡・慈明寺遺跡では、藤原京期の宅地や整然と建つ建物跡、推定西八坊大路、さらに古墳や弥生時代の遺構などがみつかりました。周辺の継続的な調査により、藤原京内の条坊道路や宅地内の利用の実態が判明するとともに、それに先立つ弥生時代、古墳時代の人々の営みもあきらかになってきました。

鳥寺の西側には、日本書紀に「飛鳥寺西槻下」として登場する広場が広がっていたと考えられています。その推定地の飛鳥寺西方遺跡は、平成二〇年度より十年間調査がおこなわれ、昨年度にその成果をまとめた報告書が発行されました。



5

藤原京域に目を移すと、藤原宮大極殿院では大極殿の北から新たな回廊を発見しました。これにより大極殿院の構造に関する研究が新たな段階に入るとともに、造営過程についての研究も進んでいます。藤原宮の西二キロメートル付近に広がる藤原京右京五条周辺および四条遺跡・慈明寺遺跡では、藤原京期の宅地や整然と建つ建物跡、推定西八坊大路、さらに古墳や弥生時代の遺構などがみつかりました。周辺の継続的な調査により、藤原京内の条坊道路や宅地内の利用の実態が判明するとともに、それに先立つ弥生時代、古墳時代の人々の営みもあきらかになってきました。

度に行われたこれら最新の発掘調査成果を中心に、飛鳥寺の風鐸



6

- 1 飛鳥京跡苑池 流水施設 (西から) 2 石神遺跡出土東北系黒色土器
- 3 飛鳥寺西方遺跡出土土管 4 飛鳥寺西方遺跡出土鉄滓
- 5 大官大寺跡出土風鐸 6 飛鳥寺西方遺跡 平成24年度全景 (北から)

交通 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車、または近鉄・JR桜井駅から奈良交通(36系統:明日香奥山・飛鳥資料館西行)バスで「飛鳥資料館」下車

駐車場 無料 普通車11台分 (近くに有料駐車場あり)

